

## 点検・交換方法

代表対象品番	JF101、JF102、JF202HS-NS、JF202HSP、JF202HS、JF205HS、
故障の状況	止水しない(レバーハンドルを開けても止水しない)、レバーハンドルが重い・固い、レバーハンドルの下から水が漏れる
点検・作業項目	セラミックバルブの交換
点検・交換部品	セラミックバルブ(品番: JF-V)
必要な工具	モンキーレンチ、プラスドライバー、マイナスドライバー(先が尖ったもの)

### ●安全上のご注意

- メンテナンスを行う前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく行ってください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- メンテナンス完了後、正常に作動することを確認してください。



作業完了後、各部から水漏れしがないことを必ず確認してください。  
※水漏れにより、家財をぬらす恐れがあります。

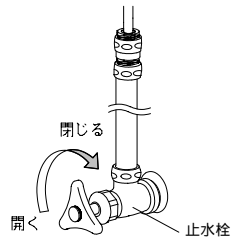
### ●作業前のご注意

- ※水側の止水栓、または水道の元栓を開けてから作業を行ってください。
- ※サイズが合った工具を使用してください。
- ※必ず水が止まっていることを確認してから作業を行ってください。
- ※排水口をフキン等で覆い、部品が落ちないようにしてください。

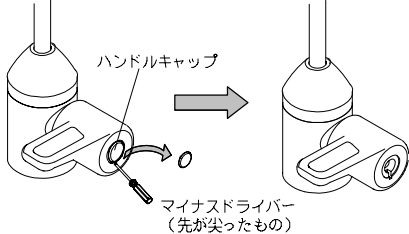
### ●交換方法

①水側の「止水栓」を矢印の方向に回して閉じます。

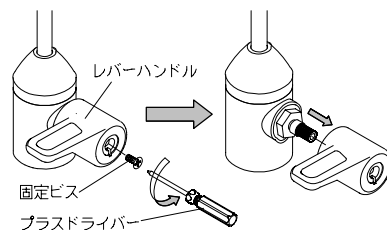
※水がでないことを確認してください。



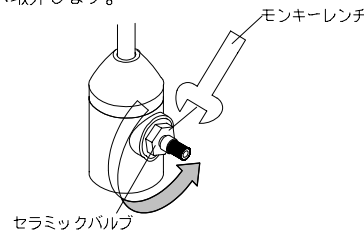
②「ハンドルキャップ」を「マイナスドライバー」で取外します。



③「レバーハンドル」の「固定ビス」を「プラスドライバー」で緩めて取外します。



④「モンキーレンチ」で「セラミックバルブ」を矢印の方向へ取外します。

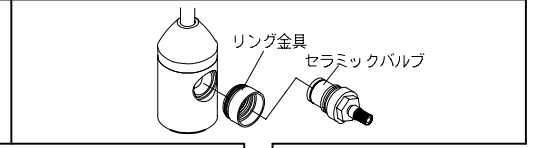
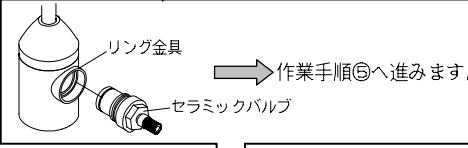


作業手順④のセラミックバルブの取り外し後の対応については、「リング金具」が外れなかった場合と「リング金具」が外れた場合により手順が異なるため絵図等をよくご確認ください。

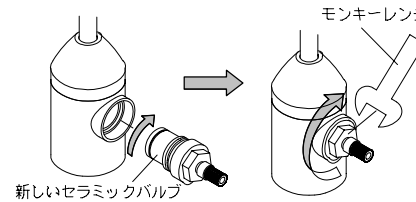
※経年劣化により、「リング金具」が外れる場合があります。

「リング金具」が外れなかった場合

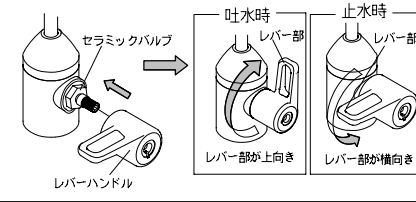
「リング金具」が外れた場合



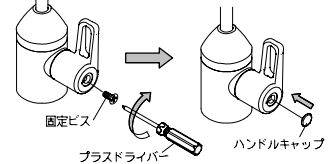
⑤「新しいセラミックバルブ」(品番: JF-V)を差し込み、「モンキーレンチ」で矢印の方向へ締め付け固定します。



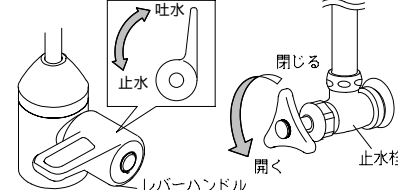
⑥「セラミックバルブ」に「レバーハンドル」を取付け、吐水時にレバー部が上になるように調整してください。



⑦「レバーハンドル」の「固定ビス」を「プラスドライバー」で固定後、「ハンドルキャップ」を取付けます。

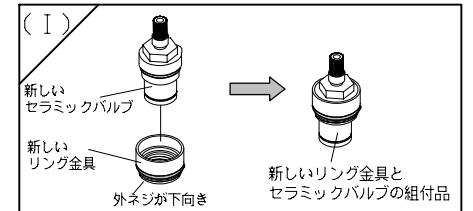


⑧「レバーハンドル」が止水状態になっていることを確認し「止水栓」、または水道の元栓を開け、適量になるように流量調整します。



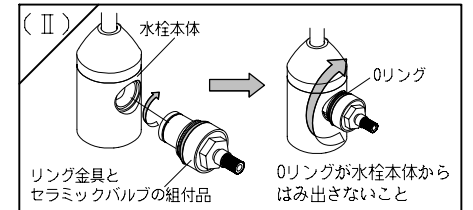
新しいリング金具が必要となりますので、下記の番号へお問い合わせください。  
TEL: 0120-39-4532

(I) 弊社より「新しいリング金具」がお届けになりましたら、「新しいリング金具」の外ネジが下向きになることを確認し、「新しいセラミックバルブ」に取付けます。

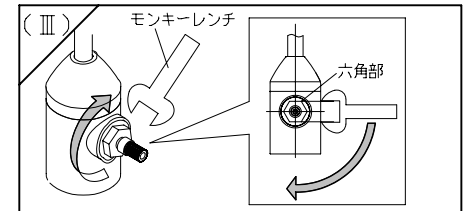


(II) 「リング金具とセラミックバルブ組付品」を矢印の方向に「水栓本体」に組付けます。

※Oリングがはみ出ないように注意してください。



(III) 「モンキーレンチ」で「セラミックバルブ」の六角部をつかみ、矢印の方向へ締め付け固定します。



作業手順⑧へ進みます。

### ●作業後の確認

※作業終了後、各部から水漏れがないことを確認してください。水漏れにより、家財をぬらす恐れがあります。